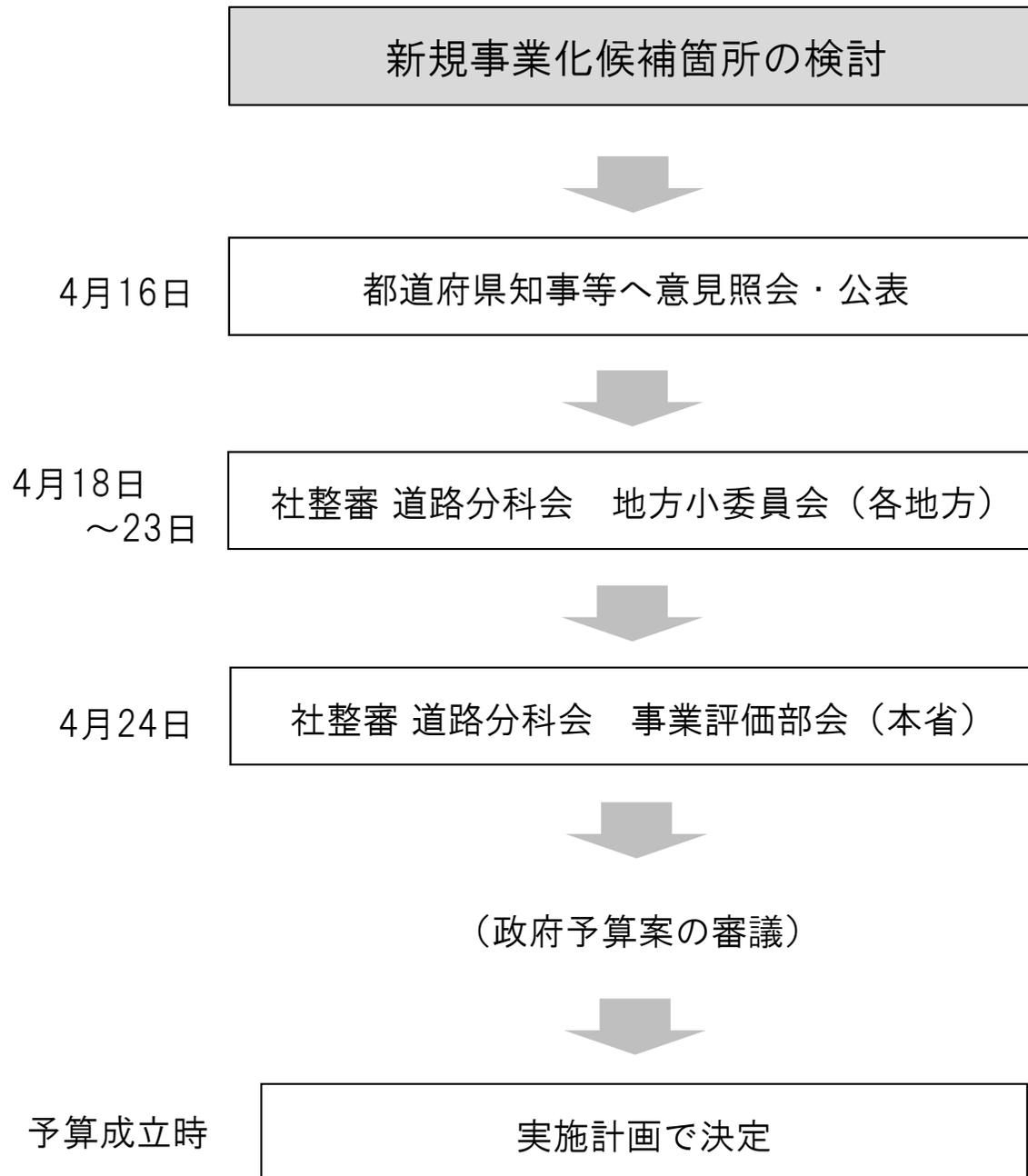


平成25年度 新規事業候補箇所 選定の考え方

H25年度（直轄道路事業） 新規事業化手続きのスケジュールについて



平成25年度(直轄道路事業)新規事業化候補箇所

《直轄道路事業》

都道府県名	路線名	区間 (箇所名)	延長	全体事業費 (億円)	備考
福島県	一般国道115号 (東北中央自動車道)	相馬福島道路(霊山～福島)	12.2km	520	
秋田県 山形県	一般国道7号 (日本海沿岸東北自動車道)	遊佐象潟道路	17.9km	520	
山形県 新潟県	一般国道7号 (日本海沿岸東北自動車道)	朝日温海道路	40.8km	1,900	
青森県	一般国道103号	奥入瀬(青樺山)バイパス	5.2km	230	
三重県 和歌山県	一般国道42号	新宮紀宝道路	2.4km	210	
奈良県	一般国道168号	五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)	6.7km	240	
熊本県	一般国道57号	滝室坂道路	6.3km	230	
愛知県	一般国道41号	名濃バイパス	7.0km	95	
京都府	一般国道24号	寺田拡幅	2.1km	140	

H25年度(直轄道路事業)新規事業化候補箇所



防災面の課題のある箇所(東北、北陸地方)

評価レベル	イメージ	耐災害性 (主経路)	多重性 (迂回路)	重要性 (レベル以上の耐災害性、多重性が必要)
A		◎	○	県庁所在地、重要都市・拠点相互が満たすレベル
B		○	—	上記に加えて、主要都市、交通拠点相互が満たすレベル
C		×	○	その他の拠点が満たすレベル
D		×	×	

※災害危険性の高い道路とは、

- ・津波被害が想定される道路
- ・事前通行規制区間において地震時に土砂災害等の恐れのある道路
- ・耐震補強未了の橋梁等のある道路

のいずれかに該当するもの

〈東北地方〉

新規箇所を含む区間

- 県庁所在地
- 主要な都市 (県出先庁舎の所在都市等)
- 重要港湾以上・地方管理空港以上

一般国道103号 奥入瀬(青樺山)バイパス

一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 遊佐象潟道路

一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路

一般国道115号(東北中央自動車道) 相馬福島道路(霊山~福島)

〈北陸地方〉

新規箇所を含む区間

- 県庁所在地
- 主要な都市 (県出先庁舎の所在都市等)
- 重要港湾以上・地方管理空港以上

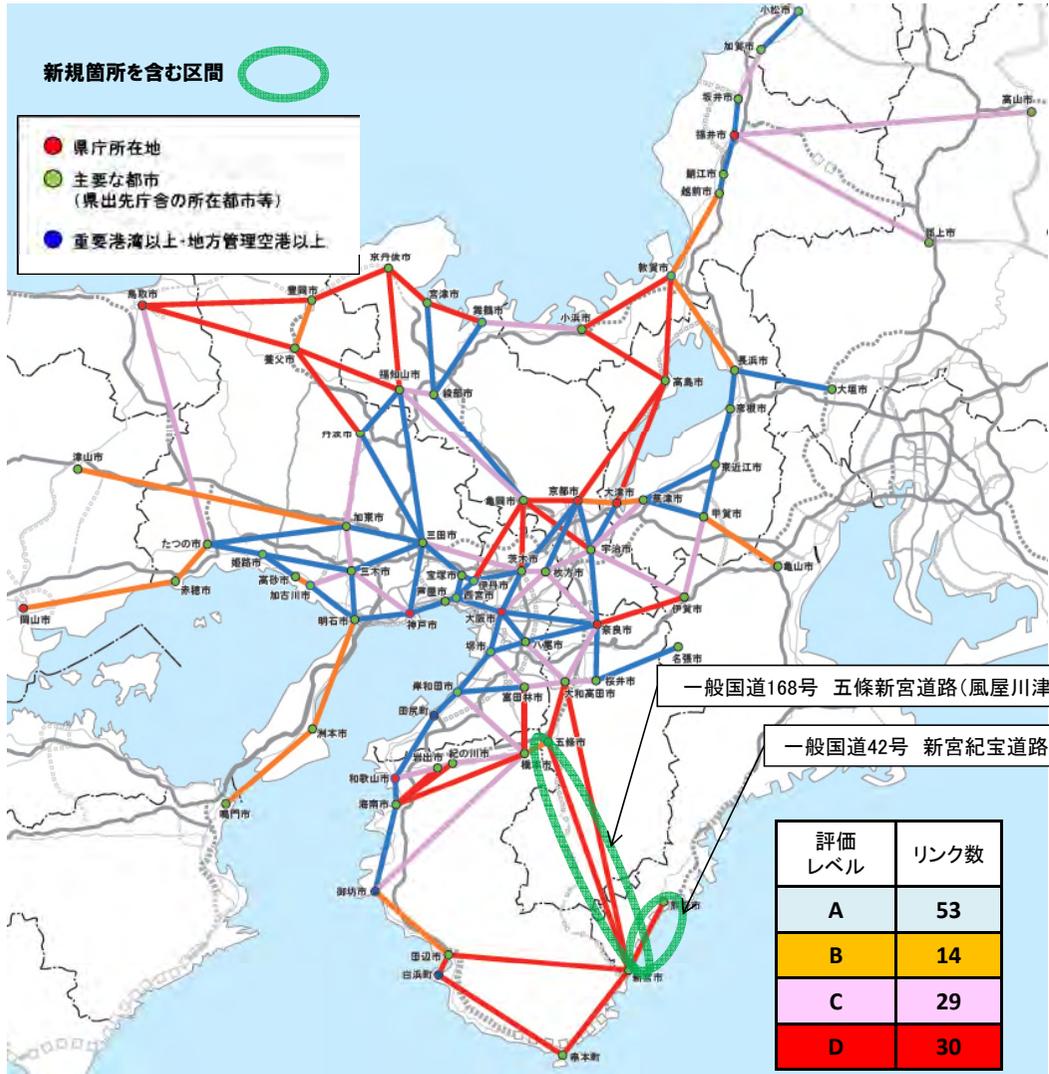
評価レベル	リンク数
A	25
B	25
C	12
D	19

評価レベル	リンク数
A	31
B	36
C	16
D	37

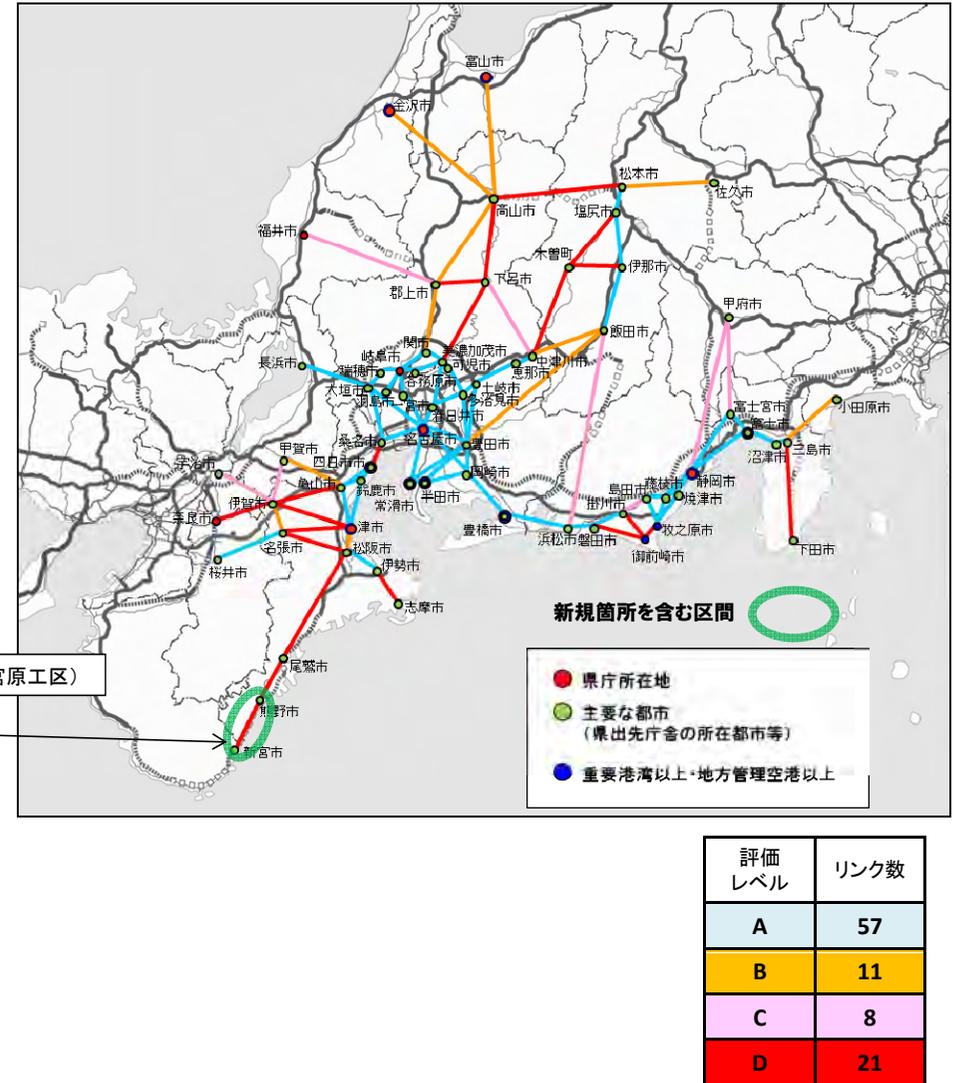
※H23時点で供用済みを対象として現況ネットワークを設定

防災面の課題のある箇所(中部、近畿地方)

〈近畿地方〉

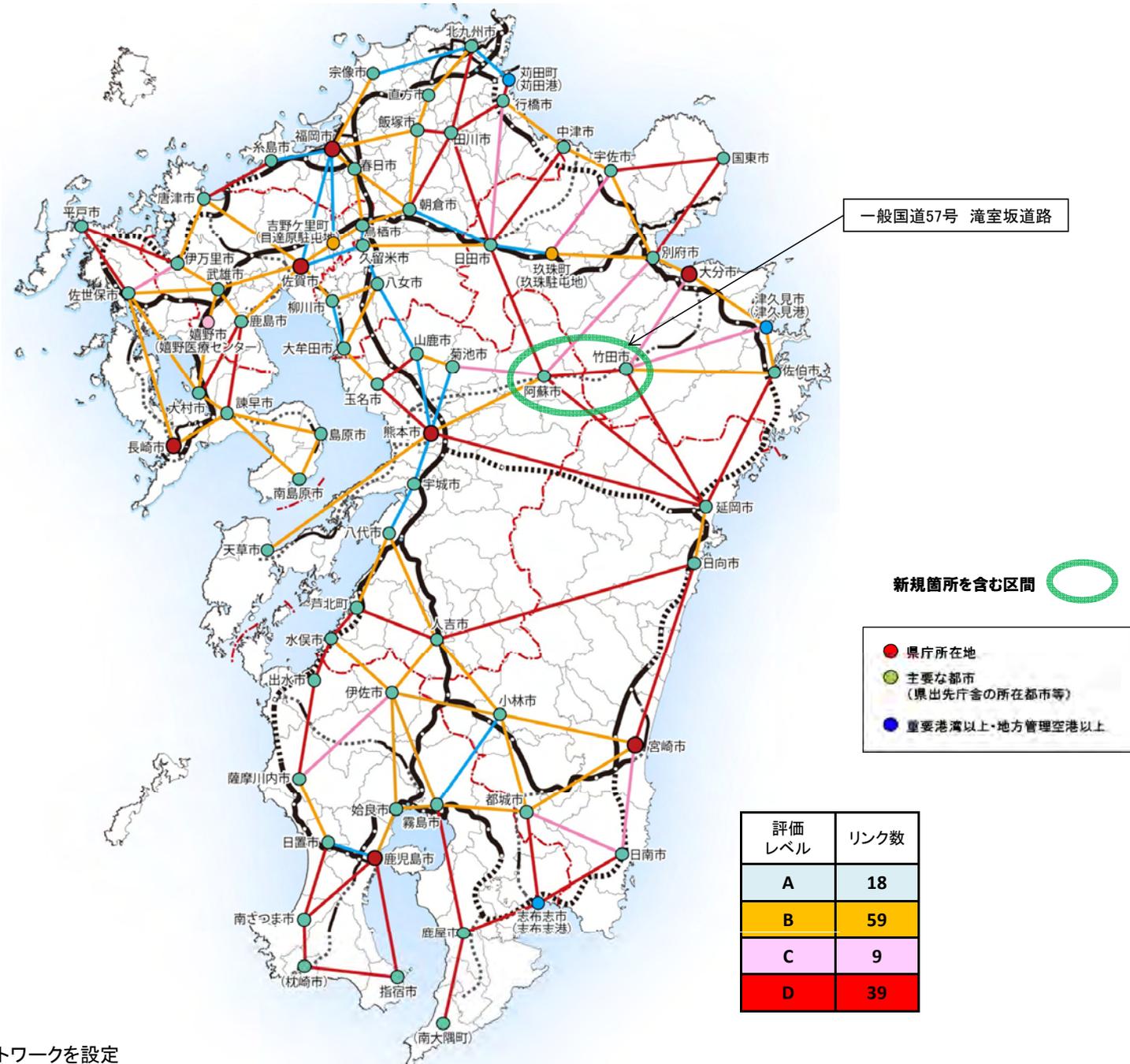


〈中部地方〉



防災面の課題のある箇所(九州地方)

〈九州地方〉



※H23時点で供用済みを対象として現況ネットワークを設定

H25年度(直轄道路事業)新規事業候補箇所 選定の考え方(高規格幹線道路等)

対象事業:高規格幹線道路又は全体事業費250億円以上

東日本大震災からの復興基本方針 (H23.7.2東日本大震災復興対策本部)

5 復興施策

(3)地域経済活動の再生

⑨交通・物流、情報通信

(ii)以下により、災害に強い交通・物流網を構築する。

三陸縦貫道等の緊急整備や太平洋沿岸と東北道を
繋ぐ横断軸の強化

日本海側との連携も含めた東北全体のネットワーク
も考慮したリダンダンシーの確保

東北中央自動車道

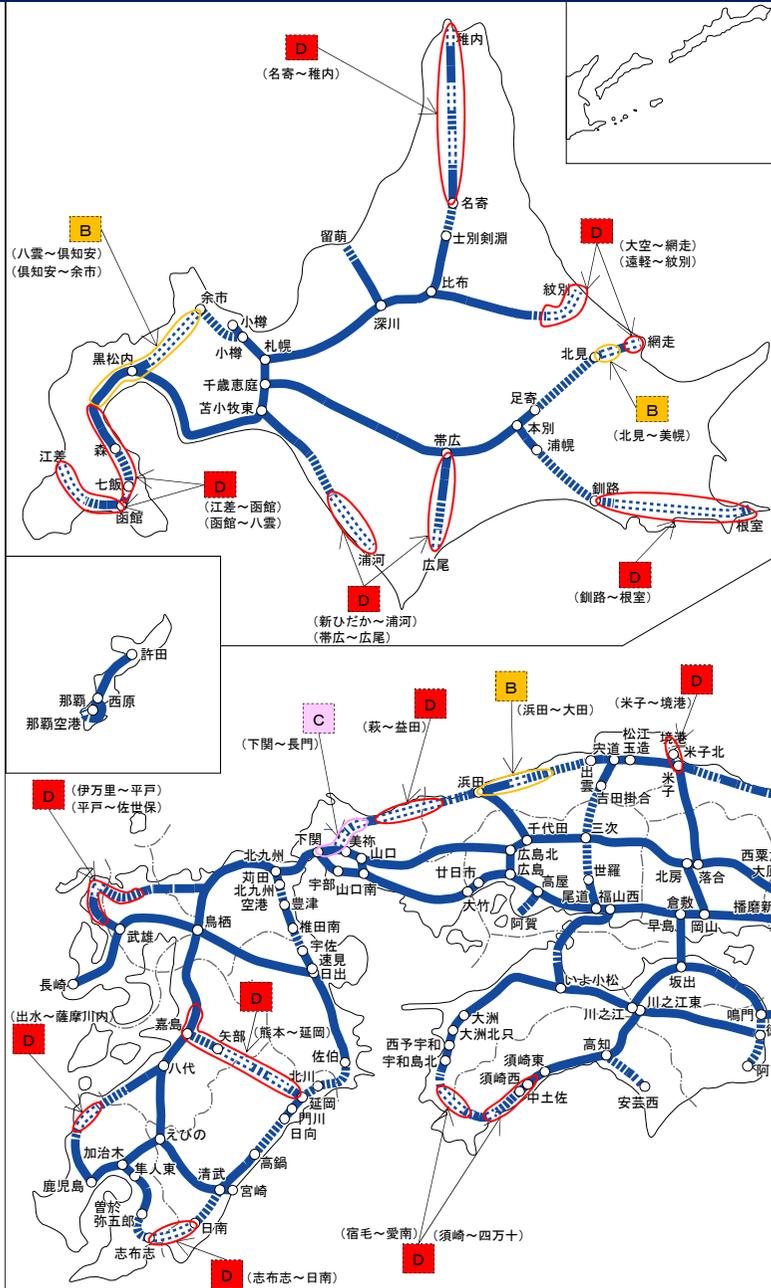
相馬福島道路(霊山～福島)

日本海沿岸東北自動車道

遊佐象潟道路

朝日温海道路

防災機能の評価レベル



評価レベル	イメージ	耐災害性 (主経路)	多重性 (迂回路)	重要性 (レベル以上の耐災害性、多重性が必要)
A		◎	○	県庁所在地、重要都市・拠点相互が満たすレベル
B		○	—	上記に加えて、主要都市、交通拠点相互が満たすレベル
C		×	○	その他の拠点が満たすレベル
D		×	×	

※災害危険性の高い道路とは、
 ・津波被害が想定される道路
 ・事前通行規制区間において地震時に土砂災害等の恐れのある道路
 ・耐震補強未了の橋梁等のある道路
 のいずれかに該当するもの

※図中の()内は主要都市・拠点間リンクの両端

事業実施環境が整っている区間 (ルート・構造の検討や必要となる都市計画手続き等が完了しているもの)
 その他の区間

日本海沿岸東北自動車道
遊佐象潟道路 18km

日本海沿岸東北自動車道
朝日温海道路 41km

東北中央自動車道
相馬福島道路 12km

評価レベル

A:
 B:
 C:
 D:

凡例

高規格幹線道路
 供用区間
 事業中区間
 未事業区間

※防災機能の評価レベルは、現状において、高規格幹線道路の未事業化区間の現道を含む主要都市・拠点間のリンクを評価したもの(大都市部の市街地を除く)

(平成24年4月30日時点)

H25年度(直轄道路事業)新規事業候補箇所 選定の考え方(その他の道路)

対象事業: 高規格幹線道路以外で全体事業費250億円未満

①災害に強い道路ネットワークの整備

防災機能の評価手法における主要都市・拠点間に防災面の課題があるリンク(防災機能の評価レベル:C又はD)
(全国 約1,200リンクのうち) 約400リンク

近年、一般国道上で大規模な災害★が発生したリンクのうち、抜本的対策に未着手
22リンク

★ 主要都市・拠点間の主な経路上において平成20年度以降に道路の被災により48時間以上の通行止めが発生した災害

直轄管理区間における災害
3リンク

リンク内で事業実施環境が整っている
2事業(2リンク)

左記以外
19リンク

緊急性や施工難易度を考慮
2事業(2リンク)

②円滑な都市・地域活動のための渋滞対策

各道路管理者、公安委員会、関係機関等からなる渋滞対策協議会において地域の意見も踏まえ特定した「主要渋滞箇所」
約9,000箇所

直轄管理区間にある主要渋滞箇所 約3,500箇所
うち対策未着手箇所 約1,900箇所

事業実施環境(都市計画・アセス等)が整っている

2事業(上記渋滞箇所20箇所対応)

6事業

円滑な都市・地域活動のための渋滞対策

○検討の流れのイメージ

素案の選定（協議会※の意見）

- ・客観的データに基づき、渋滞発生箇所を抽出
- ・地域における交通特性を考慮した抽出方法を検討

※ 渋滞対策協議会は、国・地方公共団体等の道路管理者、都道府県公安委員会及び地方運輸局等により構成

パブリックコメントの実施（道路利用者等の意見）

- ・道路利用者が実感している渋滞箇所を抽出
- ・最新データや現地状況により渋滞状況を確認

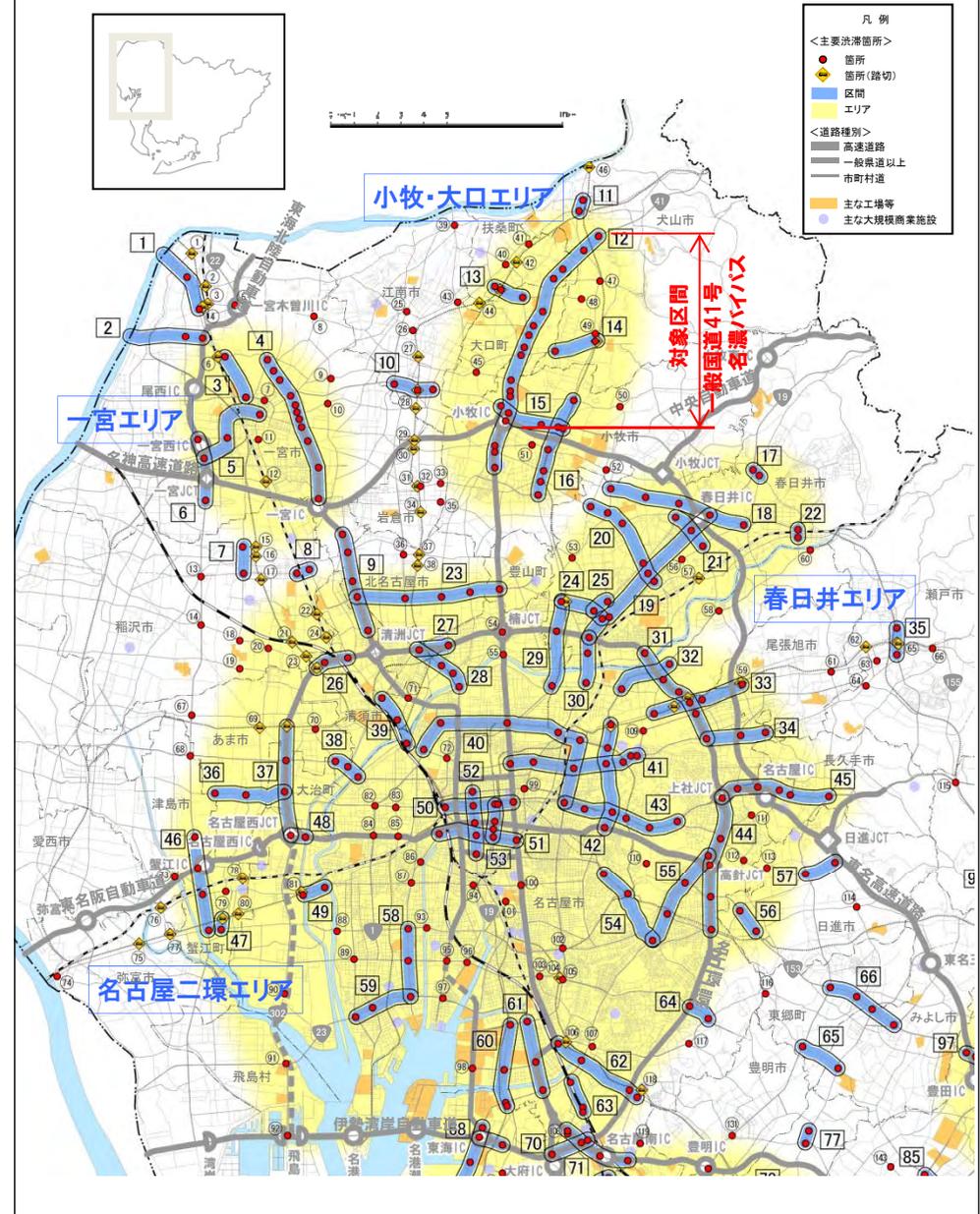
「地域の主要渋滞箇所」の選定

- ・集中する渋滞箇所は、効率的に対策を実施できるよう、区間またはエリアに集約

ソフト・ハードを含めた対策の検討

「渋滞の現状・対応の基本方針」を策定

愛知県内の主要渋滞箇所の例（愛知県道路交通渋滞対策推進協議会）

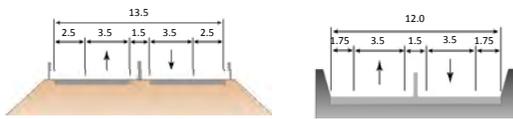


とうほくちゅうおう
東北中央自動車道

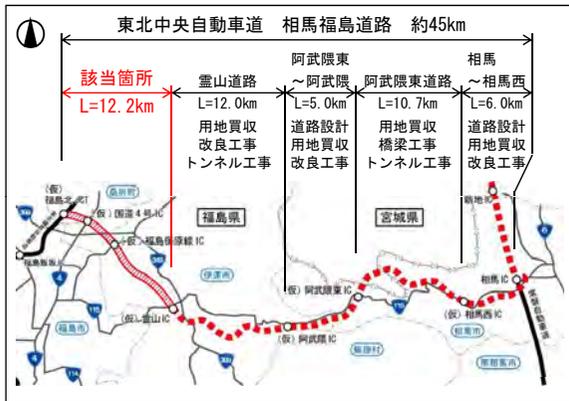
一般国道115号 相馬福島道路(霊山～福島)

事業区間: 福島県伊達市霊山町下小国～伊達郡桑折町大字松原
延長: 12.2 km
事業費: 約520億円

相馬福島道路(霊山～福島)



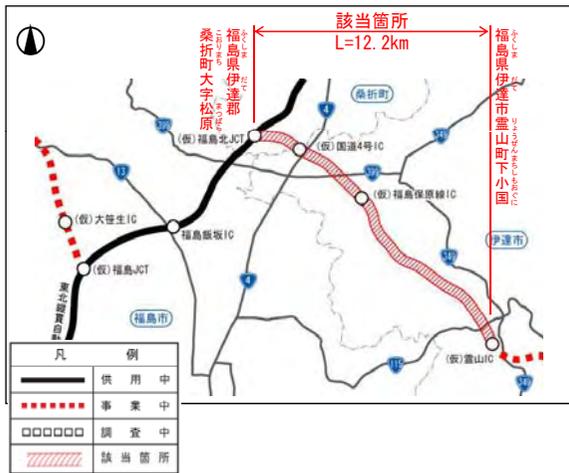
▲標準断面図



▲国道115号の状況
【福島都市圏の渋滞状況】



▲国道115号の状況
【土砂崩落による通行止め】

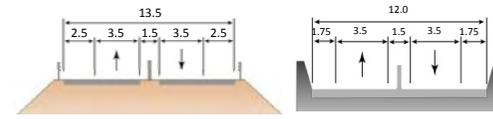


▲国道115号の状況
【線形不良区間】

にほんかい えんがんと うほく
日本海沿岸東北自動車道

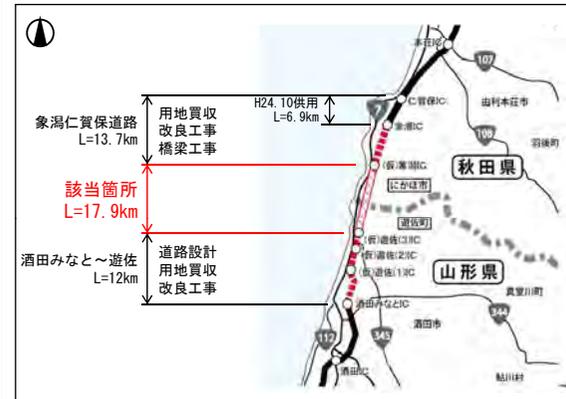
一般国道7号 遊佐象潟道路

事業区間: 山形県飽海郡遊佐町北目～秋田県にかほ市象潟町小滝
延長: 17.9 km
事業費: 約520億円



▲標準断面図

遊佐象潟道路



▲並行する国道7号
【大型車の事故による通行規制】



▲並行する国道7号
【線形不良区間】

にほんかいえんがんとうほく

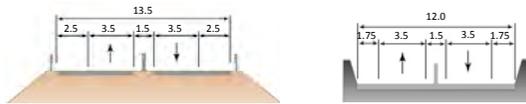
日本海沿岸東北自動車道

一般国道7号 朝日温海道路

事業区間：新潟県村上市川端～山形県鶴岡市大岩川

延長：40.8km

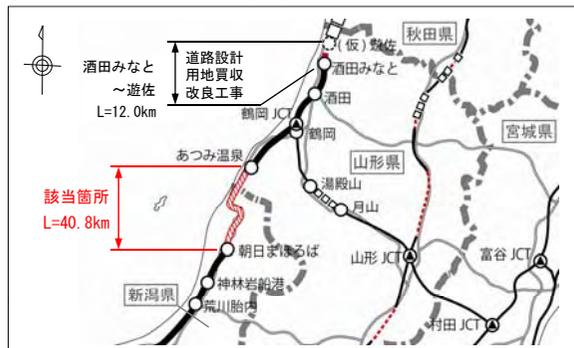
事業費：約1,900億円



▲標準横断面



朝日温海道路



▲並行する国道7号
【狭隘な現道を通過する大型車】

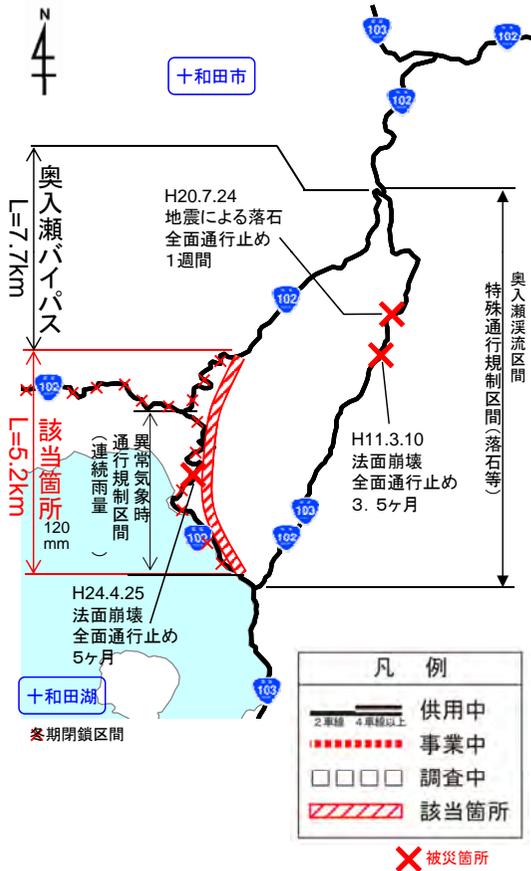
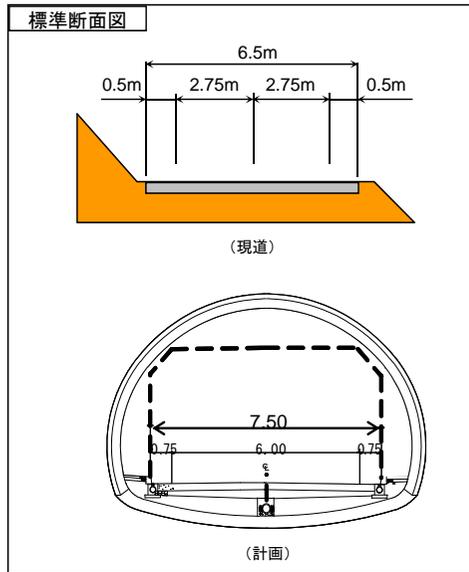


▲並行する国道7号
【冬の越波】

凡 例	
—	: 供用中
■ ■ ■	: 事業中
□ □ □	: 調査中
▨ ▨ ▨	: 該当箇所

一般国道103号 奥入瀬(青楓山)バイパス

事業区間 : 青森県十和田市青楓山～十和田市子の口
 延長 : 5.2km
 事業費 : 約230億円



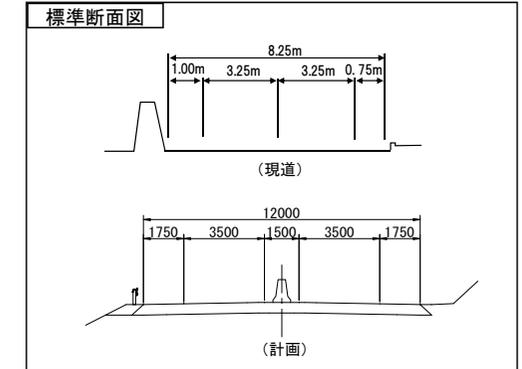
▲並行する国道103号の法面崩壊状況 (H11.3.10)



▲並行する国道103号の交通状況

一般国道42号 新宮紀宝道路

事業区間 : 和歌山県新宮市あけぼの～三重県南牟婁郡紀宝町神内
 延長 : 2.4km
 事業費 : 約210億円



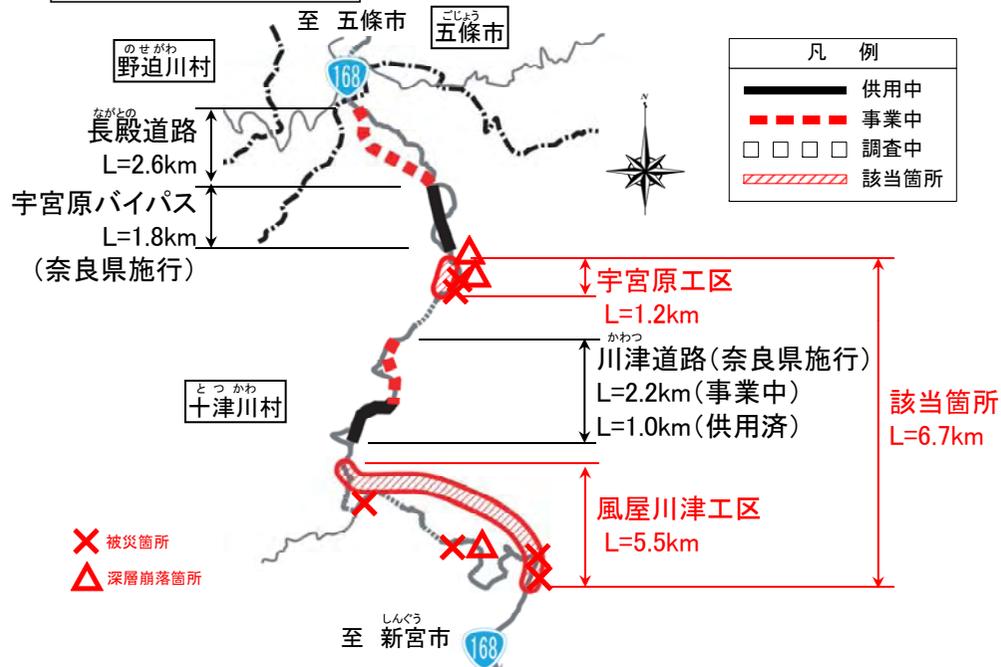
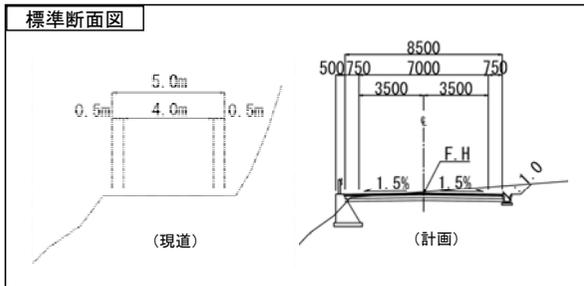
▲並行する国道42号
【熊野川渡部部の渋滞状況】



▲並行する国道42号
【平成23年9月4日 台風12号による越水状況(熊野大橋)】

一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

事業区間 : 奈良県吉野郡十津川村大字野尻～大字宇宮原
 延長 : 6.7km
 事業費 : 約240億円

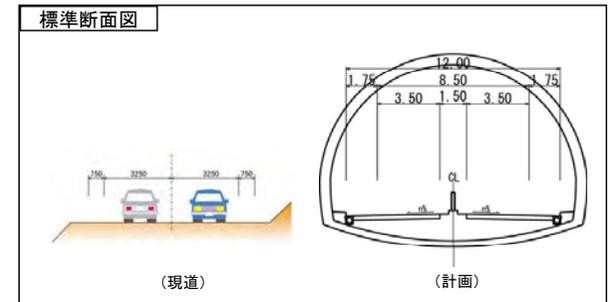


▲国道168号(宇宮原工区)

▲国道168号(風屋川津工区)

一般国道57号 滝室坂道路

事業区間 : 熊本県阿蘇市波野小地野～阿蘇市一の宮町坂梨
 延長 : 6.3km
 事業費 : 約230億円



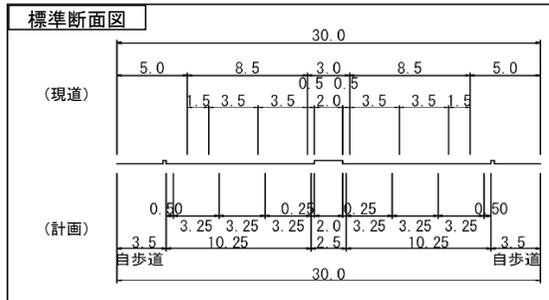
▲国道57号 H24.7被災箇所



▲国道57号 応急復旧の状況

一般国道41号 名濃バイパス

事業区間：愛知県小牧市村中～犬山市五郎丸
 延長：7.0km
 事業費：約95億円



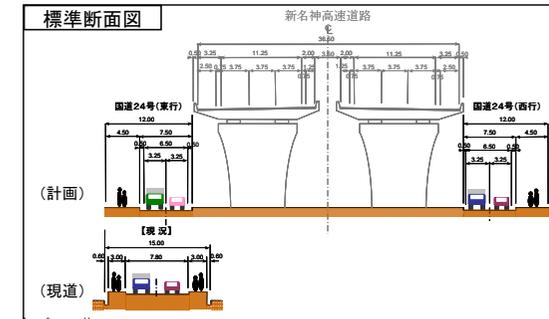
▲国道41号
 ≪横内南交差点付近≫



▲国道41号
 ≪村中交差点付近≫

一般国道24号 寺田拡幅

事業区間：京都府城陽市寺田～城陽市富野
 延長：2.1km
 事業費：約140億円



▲国道24号
 【大畔交差点付近の状況】



▲国道24号
 【消防本部前交差点付近の状況】